

## 編集後記

信州大学附属図書館研究第三号が発行されました。

今号は、遺跡資料リポジトリ関連の論文投稿が多くありました。信州大学が担当している長野県遺跡資料リポジトリは全国一の登録件数があり、最近では山梨県の遺跡資料も登録を始めています。

今回は石井鶴三関連の論文が三点と少なかったのですが、次号は必ず投稿するという共同研究者も多く、来年を楽しみにしてください。

信州大学附属図書館は、7つの公共図書館と連携協定を交わしています。それらの図書館の紹介を順次していく予定で、第1回目の今回は松本市立図書館より記事をいただきました。

中央図書館は耐震機能改修のため、9月から北棟だけで開館しています。閲覧室は二階に新たに出入り口を設け、カウンターと20席ほどの閲覧机で開館しています。事務室は北棟3階(旧第5閲覧室)で図書館職員全員が1フロアで仕事をしています。耐震機能改修は平成26年4月には終わるのですが、その後1年をかけて図書館の増築(現在の図書館の南側に増築する)を行なう予定で、全て完成するのが平成27年4月頃の予定です。

(折井)

### 編集委員

附属図書館長	笹本 正治
副館長	森 一郎
副館長補佐	岩波 峰子
	折井 匡
専門職	石坂 憲司

構成	荻原 千代
Web	徳永 澄子